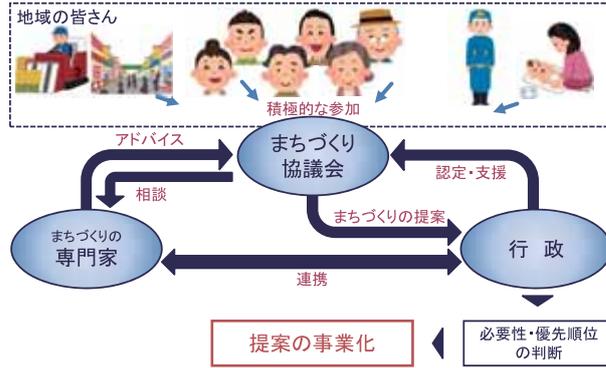


一ふりかえり、そして歩む一

1月15日、町内で初めて設立された「島田地区まちづくり協議会」。東無田地区、櫛島地区、下原地区で構成されています。設立に至るまでには、昨年10月から7回の勉強会を重ね、設立後もすでに3回の集会を開催しています。島田地区に続いて、3月には杉山地区や堂園地区でまちづくり協議会が設立され、ほかの地域でも協議会設立に向けた準備が進められています。



を目的として、住民、まちづくりの専門家で構成されるものです。協議会での話し合いをもとに町へまちづくりの提案をし、それをもとに町が必要性や優先順位の判断をし、事業化していきます。

正直に言うと、地震直後、島田地区には町からの十分な支援がないと感じていました。軒先避難者も多く、町全体の被害を考えると仕方のないことなのかもしれないが、なで、地震初期から「町に頼らんで自分たちでいろいろやっていこう」という動きがありました。そんな中、8月に神戸から来られた方が「行政に任せただけではいけない」「住みやすい町にするには、町の中から声を上げないと」という話をされたことをきっかけに町から紹介された専門家と一緒に勉強会を始めました。その延長線上が「島田地区まちづくり協議会」です。町に頼って、被災者だからあれこれしてくださいというのにはここにはありません。今後は協議会で話し合いながら、町にどんな意見を言っていこうかと思っています。

今、主に話し合っているのは、道路、公園、復興住宅についてです。一時避難地となる公園は、これまでは島田地区にはありませんでしたが、将来を見据えたまちづくりのためには必要ではないかという話をしていきます。

義援金 全国から寄せられた義援金の配分状況

❖熊本県配分義援金

日本赤十字社、共同募金会、熊本県に寄せられた義援金を県内市町村へ配分されたもののうち、益城町被災者への配分。

受け入れた義援金額(第8次配分まで)…43億9,630万円

配分対象	配分金額	件数	配分金額合計
死亡者	100万円	33人	3,300万円
重傷者	10万円	130人	1,300万円
全壊	80万円	3,473世帯	27億7,840万円
大規模半壊	40万円	975世帯	3億9,000万円
半壊	40万円	2,693世帯	10億7,720万円
一部損壊*	10万円	125世帯	1,250万円
配分済額(3月14日現在)			43億410万円

* 100万円以上の補修あり

※引き続き、義援金配分申請を行っています。申請がお済みでない方は早めの申請手続きをお願いします。生活再建支援金を申請されている方は申請は不要です。

ふるさと納税 全国の皆さまからたくさんの支援をいただいています。

件数 6,742件 金額 2億8,791万円

※代理受付：9自治体 (2月28日現在)

建設 道路等の被害額

❖災害査定額 約44億円

区分	件数	査定額
道路	197件	17億2,587万2千円
河川	27件	6億7,844万円
橋梁	20件	20億1,288万3千円
合計	244件	44億1,719万5千円

※平成28年12月査定完了。

同月から順次発注中。

解体 損壊家屋等の解体進捗状況

(3月18日現在)

区分	申請件数	完了件数
公費解体	2,184件	1,035件
自費解体	1,341件	1,341件
合計	3,525件	2,376件

進捗率 67.4%

※解体前の事前立ち会いを7月までにすべて完了する見込み。(詳細はP20)

❖町配分義援金

全国の皆さまから町へ直接寄せられたもの。

受け入れた義援金額(2月28日現在)…9億9,130万7,339円

配分対象	配分金額	件数	配分金額合計
死亡者	10万円	33人	330万円
重傷者	5万円	130人	650万円
全壊	10万円	3,464世帯	3億4,640万円
大規模半壊	5万円	971世帯	4,855万円
半壊	5万円	2,691世帯	1億3,455万円
一部損壊	5万円	3,749世帯	1億8,745万円
配分済額(3月9日現在)			7億2,675万円

農業 農地被害の国交付金と補助金

❖災害査定額 36億円

農地 79か所 264工区

農業用施設 171か所

※平成28年12月査定完了。

4月以降入札予定。

❖被災農業者向け経営体育成支援事業

申請件数 1,000件

申請金額 約30億円

※平成28年度事業分。

公園 公園等の被害額

❖災害査定額 約51億円

区分	件数	査定額
公園	8件	50億7,795万8千円